

先生方もバリアフリー教室を 体験してみませんか？



近畿運輸局では、**教員を対象としたバリアフリー教室も実施可能**です。

学校内や地域ごと、複数校合同で行う先生方の研修の一環として等で、先生方に実際のバリアフリー教室を体験していただき、「総合的な学習の時間」や福祉に関する教育の授業等で、先生から児童・生徒へ「心のバリアフリー」を伝えていただければ幸いです。

■バリアフリー教室とは？

高齢者や障害者の擬似体験や介助体験等を通じて、「心のバリアフリー」や「障害の社会モデル」等についての理解を深め、誰もが高齢者や障害者等に対し、自然に快く声をかけてサポートできる「心のバリアフリー」社会の実現を目指す体験型の教室

◇心のバリアフリーとは？

様々な心身の特性や考え方を持つすべての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合うこと（「ユニバーサルデザイン 2020 行動計画」より）

◇障害の社会モデルとは？

「障害」は個人の心身機能の障害と社会的障壁の相互作用によって創り出されているものであり、社会的障壁を取り除くのは社会の責務である、とする考え方（「ユニバーサルデザイン 2020 行動計画」より）

■体験例

教室は1～2時間程度
※日時・内容等は応相談



公共交通利用促進キャラクター
のりたろう



〈車椅子体験〉



〈視覚障害擬似体験〉

■問い合わせ先

国土交通省 近畿運輸局 交通政策部 バリアフリー推進課

電話番号：06-6949-6431 メールアドレス：kkt-barrier-free@ki.mlit.go.jp

※ 実施希望の場合は、早め（3ヶ月前程度）にご連絡をお願いいたします。

実施無料！